

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 2 月 28 日(2023.2.28)

【公開番号】特開 2022-103420(P2022-103420A)
【公開日】令和 4 年 7 月 7 日(2022.7.7)
【年通号数】公開公報(特許)2022-123
【出願番号】特願 2022-83079(P2022-83079)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 1 B

A 6 3 F 7/02 3 1 6 D

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 2 月 17 日(2023.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が入球可能な第 1 入球手段と、

遊技球を前記第 1 入球手段が配置された領域へと案内することが可能な案内面を有した案内部材と、

前記案内部材により案内された遊技球が前記第 1 入球手段に入球したことに基づいて判別
を実行することが可能な判別手段と、

遊技球が入球可能となる開放状態と、その開放状態よりも入球困難となる閉鎖状態とに可
変されることが可能な可変入球手段と、

30

前記判別手段による判別結果が特定の判別結果である場合に、前記可変入球手段を前記閉
鎖状態から前記開放状態へと可変させる特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、

前記可変入球手段に遊技球が入球したことに基づいて所定の特典を付与する特典付与手段
と、を有した遊技機において、

前記案内面は、湾曲した形状であり、複数の遊技球を案内可能な長さで形成されており、
前記可変入球手段は、前記案内部材により案内されて前記第 1 入球手段に入球しなかった
遊技球が入球することが可能な位置に配置されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、遊技者の遊技への注目度が低下してしまうという問題がある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 0 0 0 6 】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、遊技球が入球可能な第 1 入球手段と、遊技球を前記第 1 入球手段が配置された領域へと案内することが可能な案内面を有した案内部材と、前記案内部材により案内された遊技球が前記第 1 入球手段に入球したことに基づいて判別を実行することが可能な判別手段と、遊技球が入球可能となる開放状態と、その開放状態よりも入球困難となる閉鎖状態とに可変されることが可能な可変入球手段と、前記判別手段による判別結果が特定の判別結果である場合に、前記可変入球手段を前記閉鎖状態から前記開放状態へと可変させる特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、前記可変入球手段に遊技球が入球したことに基づいて所定の特典を付与する特典付与手段と、を有し、前記案内面は、湾曲した形状であり、複数の遊技球を案内可能な長さで形成されており、前記可変入球手段は、前記案内部材により案内されて前記第 1 入球手段に入球しなかった遊技球が入球することが可能な位置に配置されている。

10

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 7

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 7 】

請求項 1 記載の遊技機によれば、遊技球が入球可能な第 1 入球手段と、遊技球を前記第 1 入球手段が配置された領域へと案内することが可能な案内面を有した案内部材と、前記案内部材により案内された遊技球が前記第 1 入球手段に入球したことに基づいて判別を実行することが可能な判別手段と、遊技球が入球可能となる開放状態と、その開放状態よりも入球困難となる閉鎖状態とに可変されることが可能な可変入球手段と、前記判別手段による判別結果が特定の判別結果である場合に、前記可変入球手段を前記閉鎖状態から前記開放状態へと可変させる特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、前記可変入球手段に遊技球が入球したことに基づいて所定の特典を付与する特典付与手段と、を有し、前記案内面は、湾曲した形状であり、複数の遊技球を案内可能な長さで形成されており、前記可変入球手段は、前記案内部材により案内されて前記第 1 入球手段に入球しなかった遊技球が入球することが可能な位置に配置されている。よって、遊技機は、遊技者の遊技への注目度を向上させることができるという効果がある。

20

30

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 7 3 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 7 3 6 】

1 0 パチンコ機（遊技機）
 3 7 右作動口（第 1 入球手段）
 3 7 a 電動役物（案内部材）
 3 8 可変入賞装置（可変入球手段）
 7 1 払出装置（特典付与手段）
 S 7 0 4 判別手段
 S 9 1 4 太入賞口開閉処理（特典遊技実行手段）

40

50